

## B. 主要な施策の成果



## (1) 総務費



事業名	地域防犯推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務課	行政係			目	01	一般管理費
事業費		8,678,935 円		事業の目的・目標	自治会が行う防犯灯新設・移設・撤去（支柱含む）に係る事業費に対しては費用の1/2を補助することにより、自治会の防犯灯新設を促す。また、自治会の防犯灯をLED化し、自治会の電気料金の負担を軽減することにより、さらに防犯灯の増設を促し、安心安全のまちづくりを推進する。		
財源内訳	国庫支出金	2,404,533 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	6,274,402 円					
<b>施策の内容、実績、及び効果</b>							
○ 事業の内容							
● 防犯灯設置費補助金（新設・移設・撤去-1/2補助 補助限度額30,000円）							
内容 自治会が行う防犯灯新設に係る事業費に対し半額を補助する。							
実績 事業費 499,722円							
事業量 新設 12基 移設 7基 撤去 2基 支柱の修繕 2基							
効果 新設（移設）に係る経費を補助することにより、犯罪の抑止力向上に向け、より効果的な箇所に設置できるようになり、安全安心のまちづくりを進めることができた。							
● LED防犯灯普及事業							
内容 消費電力が少なく電気料金の節減効果のあるLED防犯灯をさらに普及させるため蛍光防犯灯からLED防犯灯への取り換えを行った。 LED率100%となったため、本事業は今年度で終了とする。							
実績 事業費 4,452,840円							
事業量 159灯							
効果 H25年度から、電気料金が全額自治会負担となったが、LED化することにより電気料金が約43%節減。これにより、自治会の負担を軽減することができた。							
● 防犯自治会補助金ほか 3,726,373円							

事業名	新庁舎建設事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 29 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	都市計画課・総務課				目	07	財産管理費
事業費		327,141,985 円		事業の目的・目標	市庁舎耐震診断判定委員会の判定結果及び市庁舎改修整備検討委員会の報告を踏まえて策定した江津市庁舎改修整備基本計画に基づき、シビックセンターゾーン内江津警察署東側敷地に江津市役所新庁舎を建設することにより、耐震性と防災拠点機能の確保並びに市民サービスの向上を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	283,000,000 円					
	その他	42,377,025 円					
	一般財源	1,764,960 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

- 基本設計の取りまとめに際して専門家等からの意見を求めるため、江津市新庁舎設計有識者会議を開催した。
- 設計業務委託  
新庁舎基本設計の取りまとめ  
Wi環境整備業務（現況調査及び什器配置計画）
- 敷地造成工事  
掘削工8,700㎡、盛土工2,200㎡  
水路工128m
- 用地取得  
A=9,300㎡（3筆）



基本設計外観パース図（正面北東側からの眺望）

単位：円

区分	決算額		翌年度への繰越額	備考
	H29繰越	H30年度		
報償費	107,700	0	0	設計有識者会議委員謝礼
旅費	550,160	0	0	設計有識者会議委員費用弁償、視察・協議旅費
委託料	58,436,800	0	6,338,480	建築設計費
工事請負費	38,895,360	0	0	敷地造成工事費
用地取得費	195,325,200	33,564,960	0	
事務費	261,805	0	0	会場借上費、庁費他
合計	293,577,025	33,564,960	6,338,480	

#### ○事業実施の状況

単位：円

区分	H29年度	H30年度	合計
報償費	78,800	107,700	186,500
旅費	481,200	550,160	1,031,360
委託料	25,738,440	58,436,800	84,175,240
工事請負費	18,660,000	38,895,360	57,555,360
用地取得費	0	228,890,160	228,890,160
事務費	928,015	261,805	1,189,820
合計	45,886,455	327,141,985	373,028,440

#### ○事業の実績



敷地造成工事（着手前）



敷地造成工事（完了後）

事業名	ふるさとづくり寄付金事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率 %		項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課	政策企画係		目	08	企画費
事業費		23,816,082 円	事業の目的・目標	ふるさとへの想いや江津のまちづくりに共感を持つ人々が、地域づくりへ参加できるように寄付金による基金を設置し、その財源を活用し、地域住民福祉のための必要な事業を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	23,816,082 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

「ふるさと納税制度」は平成20年度に地方税法の一部改正により、地方自治体に対する寄付金のうち、2,000円を超える部分について、個人住民税所得割の概ね2割を上限とする金額が、所得税と合せて控除される。

市外在住の寄付者に対しては、今後も江津市とのご縁を大切にいただけるようお礼を兼ねて、『ふるさと特産品』を進呈し、江津市の特産品PRと地域産業の活性化を図る。

平成30年度は、7月豪雨災害の寄付受付を寄付サイトで行った。

#### ○平成30年度の寄付の状況

	寄付件数	寄付金総額
通常寄付	1,819件	47,278,700円
うち災害寄付	(183件)	(3,560,700円)

#### ○平成20年度からの寄付の累計

寄付件数	寄付金総額
22,720件	428,933,532円

#### 参考：過去の実績

	平成20～23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	301件	153件	1,033件	4,466件	7,663件	4,335件	2,950件
金額	6,309,100円	1,983,000円	13,198,000円	49,456,001円	148,409,871円	96,888,860円	65,410,000円

#### ○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報償費	10,684,310	記念品
需用費	101,412	消耗品費
役務費	99,215	証明書送料等
委託料	12,433,854	業務委託料、納税管理システム保守料
使用料及び賃借料	497,291	ふるさと納税サイト利用料、クレジット決済
合計	23,816,082	

#### ○ふるさとづくり寄付金の活用実績

単位：円

事業の種類	対象事業	事業費	寄付金充当額
① 江の川が育み人麻呂が愛したふるさとの自然、景観を活かしたまちづくり	地域景観形成促進事業（シビックセンター植栽管理等）	2,803,680	2,500,000
② 大元神楽、石見神楽等、ふるさとの伝統芸能、文化の伝承に関する事業	文化活動支援事業（再興院展補助金）	2,000,000	2,000,000
	指定文化財保護事業	148,684	148,684
	観光費1（パレットごうつ神楽定期公演謝礼）	1,500,000	1,000,000
	大元神楽伝承館管理事業	3,000	3,000
③ 江の川の豊かな恵みを活かした交流を通じて人々が元気になる事業	江の川祭り事業2	5,400,000	4,700,000
④ ふるさとの子供たちがすくすくと育ち、安心して暮らせるための事業	江津市コミュニティ助成事業（長田児童公園遊具）	1,270,000	1,270,000
	小学校教育振興費1（コンピュータース）	12,762,360	8,000,000
	中学校教育振興費1（コンピュータース）	12,800,592	6,400,000
	保育所費2（谷住郷保育所エアコン購入）	915,944	800,000
	図書館整備費2（図書購入）	2,499,654	2,499,654
⑤ ふるさとの人々がイキイキと、暮らし続けていくための事業			
合計		42,103,914	29,321,338

○事業の効果

総務省通知により返礼品割合の見直しを行った結果、前年度と比較すると寄付額は約3割減であった。10月から返礼品の取扱いを外部委託し、寄付額に対する返礼品価格の見直しや種類の追加を行うことが出来、江津市及び特産品のPRをすることができた。

また、寄付サイトを通じて、豪雨災害の寄付支援を行い、たくさんの支援と励ましをいただいた。

○特産品の注文数

項目	件数	割合
肉・加工品	676	36.0%
水産物・加工品	273	14.5%
農産物・加工品	208	11.1%
その他の食品類	446	23.7%
工芸品	74	4.0%
体験チケット	3	0.2%
その他	198	10.5%
計	1,878	100.0%

※平成29年度中に申請し、平成30年度に発送したのも含まれるため、寄付件数とは一致しない。



事業名	高野山風力発電所周辺地域活性化支援補助事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課	政策企画係		目	08	企画費	
財源内訳	事業費	1,325,000 円	事業の目的・目標	江津高野山風力発電所から概ね1kmの範囲内の連合自治会が、地域の活性化を目指して実施する事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付することにより、対象地域の活性化を図ることを目的とする。			
	国庫支出金	円					
	県支出金	1,325,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容及び実績

該当地域の連合自治会において実施される防犯灯の設置・維持や、地域の活性化に寄与する事業に対して補助金を交付する。

補助対象連合自治会	補助額	備考
敬川連合自治会	150,000円	・防犯灯維持管理事業
跡市地区まちづくり協議会	200,000円	・防犯灯維持管理事業
有福温泉町連合自治会	55,000円	・防犯灯設置事業
二宮町まちづくり協議会	920,000円	・防犯灯設置事業 ・防犯灯維持管理事業 ・地域活性化事業
合計	1,325,000円	

#### ○事業の効果

- 防犯灯の設置や維持管理を行うことで、地域の安全安心を図ることができた。
- 当補助金を各地域における課題解決や地域資源の整備等に活用することで、地域住民の交流や地域の振興に寄与することができた。  
【例：地域コミュニティ管理費、防犯カメラ更新工事、恵良媛祭り等】

**「万葉ロマンの里・二宮」  
第7回恵良媛まつり開催!!**  
今年もやりませ万葉小劇場

待ってる  
け〜せー!

人前さんと  
恵良媛さん

萬葉ロマンの里：二宮で「第7回恵良媛まつり」を開催します。子供からお年寄りまで、万葉の魅力をしながら楽しんでいただけるよう、盛りだくさんの出し物を準備してまいります。お楽しみの際は是非お越しください。

◆開催日 平成30年10月7日(日) 午後10時から午後3時まで

◆会場 二宮地域コミュニティ交流センター(入場無料、館内での飲食は可。)

◆プログラム

10:30~10:35	◆ 開会あいさつ	(恵良媛祭り実行委員長)
10:35~10:35	◆ 「ダンスパフォーマンス」	(江津パフォーマンス)
10:40~11:10	◆ 「恵良媛の歌パート2」	万葉小劇場 (二宮町長)
11:10~11:20	◆ 「仁徳天皇の御誕生」	(江津市社会教育課主任 伊藤健児)
12:30~12:30	◆ 昼休憩	
12:35~12:40	◆ 「万葉クイズ」	(大塚祐三)
13:35~14:20	◆ 「石見神楽」	(石見神楽団)
14:25~14:30	◆ 閉会あいさつ	(二宮町まちづくり協議会)

主催者：第7回恵良媛祭り実行委員会/二宮町まちづくり委員会  
問い合わせ先：二宮地域コミュニティ交流センター  
TEL/FAX 03-1602 (9:00~17:00)



事業名	地域コミュニティ活性化事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	02	総務費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率 %		項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課	地域振興係		目	09	地域振興費
財源内訳	事業費	113,157,910 円	事業の目的・目標	過疎化や少子高齢化により地域活動の衰退が進行し、地域の維持が困難な状況となっていることから、地域住民の主体的なまちづくり活動を支援し、住民と行政との協働による地域づくりを推進する。		
	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	69,600,000 円				
	その他	4,953,306 円				
一般財源	38,604,604 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○ センター運営／活動促進

- ① 活動拠点となる交流センターの管理運営
- ② 活動を促進するための研修会等の実施／地域支援員の配置

歳出科目	センター管理	活動促進	備考
報酬	55,098,600	1,972,800	センター職員/地域マネージャー報酬
共済費	6,233,336	278,777	雇用保険/社会保険等
報償費	0	171,870	研修会講師謝金(さわやか福祉財団)
旅費	22,840	171,840	防火管理者講習/先進地視察
需用費	12,525,674	81,544	センター光熱水費、修繕料、燃料費
役務費	1,945,131	116,590	電話代、インターネット
委託料	2,273,724	6,480	浄化槽、消防設備点検
使用料及び賃借料	2,634,820	122,969	センター土地借上、AEDレンタル、WS・研修会場使用料
工事請負費	680,140	0	改修工事
原材料費	0	0	
備品購入費	326,240	0	施設備品購入
負担金及び交付金	20,500	0	防火管理者講習
計	81,761,005	2,922,870	

#### ○ 地域コミュニティ実践事業交付金(平成21年度～)

地域で組織された自治組織(地域コミュニティ組織)が、自ら考え取り組む「地域づくり計画」を実践するため、交付金により支援を行う。(平成30年度より郷田地区が実践事業へ移行。)

交付団体名	交付金額(単位:円)		備考
	組織運営費	独自事業費	
波積地区まちづくり協議会	300,000	363,101	地域各種行事、まとめて出前講座 他
黒松自治区推進協議会	300,000	2,059,890	港祭り、特産品づくり、サロン 他
都治地区コミュニティ協議会	500,000	1,175,000	梅のふる里まつり、梅の植栽 他
浅利まちづくり振興会	500,000	1,290,000	にこにこ給食、交通安全・防犯 他
松平たすけ愛協議会	550,000	1,850,000	松平あんずカフェ、花田植え 他
わたづコミュニティ協議会	600,000	0	冬休み子どもの集い、わたづまつり 他
郷田コミュニティ協議会	700,000	521,118	地域づくり計画策定、郷田地区文化祭 他
嘉久志まちづくり推進協議会	900,000	1,000,000	認知症サポーター養成講座、リレー弘縁会、担い手育成事業 他
和木まちづくり協議会	600,000	0	子どもの居場所づくり、ワークショップ 他
都野津町づくり協議会	850,000	1,000,000	会館カフェ、見守り活動、通学合宿 他
二宮町まちづくり協議会	900,000	821,703	防災事業、自治会再編WS 他
跡市地区まちづくり協議会	350,000	528,622	交流事業、健康ウォーキング 他
敬川まちづくり協議会	500,000	1,060,000	防災訓練、名所・旧跡スタンプラリー 他
波子まちづくり活性化協議会	350,000	1,000,000	ゲストハウス、波子の日 他
有福温泉町まちづくり協議会	300,000	1,110,000	夏祭り、担い手づくり 他
長谷里山づくり協議会	300,000	564,226	有害鳥獣被害軽減活動、生涯学習 他
まごころ市山	350,000	2,000,000	サロンたんぽぽ、まごころ市、 他
川戸地域コミュニティ協議会	350,000	850,000	廃線一周年イベント、家族・地域の絆事業 他
谷津郷まちづくり協議会	300,000	1,025,074	ニコニコ給食、すみえっこクラブ 他
川越まちづくり協議会	350,000	405,301	防災訓練、世代間交流ウォーキング 他
小計	9,850,000	18,624,035	
総計		28,474,035	

#### ○ 事業の効果

各地区の地域課題解決の取組として、地域の特色や資源を活かした地域づくりや支え合いの仕組みづくり、ひとつづくりなど独自の活動を展開しており、本交付金により地域コミュニティ組織の主体的な活動が促進された。

事業名	定住促進総合対策事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 26 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課	地域振興係		目	09	地域振興費	
事業費		3,253,112 円		事業の目的・目標	定住相談員を配置し、移住・定住に関する細やかな支援を行うほか、都市部で開催されるフェア等へ参加し、UIターンを促進する。 また、女性の再就職や起業の支援、結婚支援等により、女性や若者の定住を促進する。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	124,000 円					
	地方債	円					
	その他	5,442 円					
	一般財源	3,123,670 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ①定住相談事業

空き家バンクの運用や情報発信、またワークステーション江津等との連携により、ワンストップの定住相談を実施できる体制を整え、増加傾向にある空き家相談、移住相談に対して、定住相談員が総合的な支援を行い、UIターンを促進する。

##### ②女性の再就職等支援

ワークステーションとの連携や、補助金の交付等により女性の起業を支援する。（上限200千円の定額助成）

##### ③結婚支援

企業や個人・団体等を対象とした「ごうつ恋活応援団」の登録を促進し、恋活応援団による結婚支援活動を活性化することで、結婚を望む市民の出会いの機会を増やす。

##### ④総合戦略推進業務

多岐にわたる人口減少対策に資する事業のKPI評価等を管理して、適切で効果的な事業推進を図るための調整や進捗の可視化を行う。

#### ○事業の実績

##### ①定住相談専門員の配置による定住対策

: 2,433,833円

- 定住相談専門員配置 1名
- 空き家バンクへの登録件数 16件
- 定住相談 86件、うちUIターン者数23人

##### ②女性の再就職等支援

: 400,000円

- 女性のプチ起業補助金 2件（美容室、リンパマッサージ）

##### ③結婚支援

: 324,000円

- 運命の出会い創出事業委託 6回 83名参加
- ごうつ恋活応援団支援事業 58名参加（20Dai登校日）

##### ④総合戦略推進業務

: 95,279円

- 7/17 第一回総合戦略審議会 8/9 第二回総合戦略審議会
- 関係会議等参加

#### ○事業の効果

①定住相談、空き家バンク、HPによる情報発信などをきめ細かく行い、UIターンが促進された。

②ワークステーション江津と子育てサポートセンターが連携して、子育て中の女性求職者の支援を常態的に行った。また、女性の起業へ補助金交付を行って事業開始を支援した。

③結婚支援では、カフェを起業した女性にイベント実施の委託を行い気軽に参加して出会いを見つける場の提供を行い、好評を得た。

④総合戦略の審議会を開催し、外部委員からKPI評価、施策評価の審議を行い、有効な事業推進に寄与した。

事業名	定住促進空き家活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署					目	09	地域振興費	
事業費						3,327,427 円	事業の目的・目標 空き家を活用したU I ターン向け住宅の整備を行い、若年世帯を確保することにより集落の機能の維持・活性化を図る。	
財源内訳	国庫支出金				円			
	県支出金				円			
	地方債				円			
	その他				1,308,000 円			
	一般財源				2,019,427 円			

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

U I ターン者の受け入れを促進するため、空き家の利活用に係る事業を推進する。

- 総事業費 : 3,327,427 円  
内訳) ①空き家バンク事業 (空き家調査の実施)  
: 1,286,681 円  
②U I ターンのための空き家活用促進事業 (空き家改修費補助金、事業費の1/2、上限100万円)  
: 500,000 円  
③定住促進集落活性化住宅管理事業 (8戸の住宅を管理)  
: 1,540,746 円

#### ○事業の実績

- ①定住促進集落活性化住宅管理事業
  - ・管理する住宅 6戸
  - ・入居状況 4戸 10人
- ②空き家バンク事業
  - ・新規登録件数 16件
  - ・空き家バンクによるU I ターン者数 16人 (11世帯)
- ③U I ターンのための空き家活用促進事業
  - ・U I ターンのための空き家改修費補助金交付件数 1件
  - ・補助金交付によるU I ターン者数 2人 (1世帯)

#### ○事業の効果

- ①定住促進集落活性化住宅は家賃が安価なため、若年世代のU I ターン促進につながっている。
- ②空き家バンクは、年々制度が浸透してきており、状態の良い物件 (空き家状態になって間もないもの) の登録依頼及び物件に関する市外からの問い合わせが増加している。移住希望者が江津市に訪れた際に、紹介した空き家バンク物件を気に入りそのまま移住が決定するケースも見られ、U I ターン促進の手段として重要な役割を担っている。
- ③U I ターンのための空き家改修費補助金は、住まいを探している移住希望者を後押しする制度となっている。

#### ■空き家バンク利用実績

年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
空き家バンク登録物件	20	24	24	33	29	38	42	39	30	25	24	18	16	362
空き家バンク物件入居数	10	9	13	18	13	20	16	8	7	8	12	15	11	160
空き家バンク利用移住者	12	19	34	45	45	46	34	19	20	18	26	25	16	359
【内訳】														
賃貸物件	10	15	23	29	36	27	14	13	13	3	8	3	8	202
江津市定住促進 集落活性化住宅	0	0	7	10	9	0	3	2	0	2	0	0	3	36
売却物件	2	4	4	6	0	19	17	4	7	13	18	22	5	121

事業名	コミュニティビジネス創出支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課		地域振興係		目	09	地域振興費	
事業費			5,384,944 円		事業の目的・目標	小規模でも地域の課題や資源に根ざしたビジネスを創業する仕組みを整えるとともに、起業スキルを持つ人材を受け入れる環境をつくる。		
財源内訳	国庫支出金		2,012,000 円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		3,372,944 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

過疎化・高齢化が進む本市において、ソーシャルビジネス等の起業を促進し、多様な雇用を創出する仕組みづくりを行うため、ビジネスプランコンテストを開催し、起業しようという熱意のある人材に対し、本市で起業する機会を提供するとともに、プラン実現に向けた創業支援を行う。

#### ○事業の実績

##### ●ビジネスプランコンテスト【委託費4,024,944円】

県内外から6件の提案が寄せられ、1次審査、2次審査（公開プレゼンテーション）を経て、1件の大賞受賞者を選出した。2次審査会出場者5件のうち、2件が事業実施している。

##### ●若者世代のUIターン起業支援補助金【補助金1,360,000円】

ビジネスプランコンテスト1次審査通過者、及び40歳未満のUIターン者2件を対象に補助金を交付し、起業を促進した。  
（森のようちえん、産後ケア事業）

#### ○事業の効果

NPO法人でごねっと石見へビジネスプランコンテストを業務委託。市、江津商工会議所、桜江町商工会、日本海信用金庫、NPO法人でごねっと石見が連携し、応募者に対してきめ細かい支援を行うことで、UIターン起業の実効性が高まっている。

起業に向けて、ブラッシュアップ勉強会を実施することで、プランを実効性あるものにするだけでなく、地域資源の理解や、関係者との協力体制、支援者とのつながり、ビジネスパートナーの発見など、起業の実現性を高める仕掛けが有効に働いている。

また、行政以外の関係者それぞれが、江津市の課題や魅力に向き合って、江津市のためにどのようなことができるかを考える機会にもつながっている。

#### ■ビジネスプランコンテスト（Go-Con）実績

開催年		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	合計
応募件数		25	23	13	11	13	9	5	7	6	112
性別	男	18	16	12	7	6	6	3	4	4	76
	女	7	7	1	4	7	3	2	3	2	36
居住地	市内	6	12	4	3	4	5	4	1	4	43
	市外（県内）	5	4	4	1	3	1	0	2	0	20
	市外（県外）	14	7	5	7	6	3	1	4	2	49
最終審査会進出者		6	7	6	6	6	6	3	6	5	51
大賞 受賞者		4	2	1	1	1	1	1	1	1	13
うち、創業済件数 （H30.12月末現在）		2	2	1	1	3	5	2	4	2	22

※起業件数は出場した年度に計上

事業名	地域の活力創出事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課		地域振興係		目	09	地域振興費
事業費			7,642,903 円	事業の目的・目標	地域の活力を引き出し、地域の魅力を引き出す活動及び関係人口や交流人口・移住者の増加を目的とした事業に対する支援を行い、地域の活性化を図る。		
財源内訳	国庫支出金		3,204,360 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		300,000 円				
	一般財源		4,138,543 円				

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

① まちひと結び事業

NPO法人や任意団体、地域コミュニティ組織等による交流・移住促進を目的とした取り組みに必要な経費を補助する。(上限300千円の定額助成)

② 外部人材受入促進事業

ふるさと島根定住財団が実施するしまね産業体験や島根地域づくり活動体験の制度を受けて本市へ移住する人に対して体験助成金を支給する。(月3万円、最大1年間)

③ 市民大学

「GO▶GOTSU山陰の創造力特区へ。」というまちづくりの理念を具現化するため、市民自らが先生にも生徒にもなれる市民大学という「学び場を提供する仕組み」を創り、地域や企業の課題解決や魅力づくりを市民が主体的に担う環境をつくる。

○事業の実績

① まちひと結び事業

: 300,000円

- よりみちピクニック実行委員会が地域内外の人との交流事業を実施  
参加規模: 500人 (荒天により中止)

② 外部人材受入促進事業

: 934,183円

- 体験助成金を支給 6名  
補助金810,000円 他事務経費124,183円

③ 市民大学

: 6,408,720円

- 市民大学の名称を「GO▶つくる大学」とし、持続可能な運営体制と魅力ある授業づくりに取り組んだ。  
講座数: 34 (説明会、イベント含む) のべ受講者数: 447人

○事業の効果

① まちひと結び事業を活用した交流事業により、交流人口の拡大だけでなく、地域の課題や魅力を発見する機会を意識した取組を支援するようにして事業効果を上げている。

② しまね産業体験・しまね地域づくり活動体験事業への上乗せ助成により、移住1年目の暮らしが安定したものとなり、定住につながっている。

③ GO▶つくる大学で定期的に講座を実施、参加者数も伸びてきて、内容も充実。魅力的な講座が誕生している。

事業名	シティプロモーション推進事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	政策企画課	地域振興係		目	09	地域振興費	
事業費		3,274,148 円	事業の目的・目標	本市の特色ある取組やまちづくり、活躍する人や企業などを魅力的に市内外へ様々な媒体や手法を用いて発信することで、挑戦したい若者やふれあいを求める都市住民の移住を促し、本市との関わりを主体的に持つ『関係人口』や『活動人口』を増やしていくなど、多様な形態での人材の受入を促進する。			
財源内訳	国庫支出金	1,499,904 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	1,774,244 円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

地域の課題解決に取り組む意欲のある若年層、起業志向者に向けて、本市の魅力、実践者の取り組み、起業支援体制などを地方志向の都市在住の若者コミュニティへのPR活動を重点的に行う経費。

#### ○事業の実績

##### ●プロモーション旅費 : 248,420円

地方志向の若者や地方創生に興味を持つ企業が集まるイベント等へ出かけて江津市の宣伝を行った。

地域仕掛け人市 東京独自イベント 広島Tサイトイベント ほか

##### ●シティプロモーション委託 : 2,499,876円

東京で、関係人口創出に向けたイベントの企画と実施。地域仕掛け人へ出展コーディネート。市内へ向けた宣伝媒体の開発。

東京独自イベント：18名参加 地域仕掛け人市：来場者401名 江津ブースでの説明は約50名

##### ●サイト運営委託 : 499,932円

GO>GOTSU! ブランドサイトから市内の実践者を外部に発信することで、本市を「起業・創業に挑戦しやすいまち」であることを情報発信した。

##### ●HPサーバー借上げ : 25,920円

#### ○事業の効果

都市部在住の地方でのまちづくりや起業志向者や江津に関わりのある人に対して継続的に情報発信や交流を行い、また、江津市を訪問してもらい起業家や暮らしぶりを体感してもらうことによって、江津市への移住や関係人口の増加に結び付けていける手応えがあった。



地域仕掛け人市



東京独自イベント

事業名	地方バス路線維持対策事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	商工観光課		商工振興係		目	10	地域開発費	
財源内訳	事業費		31,973,000 円		事業の目的・目標	公共交通機関である路線バスは、過疎化と高齢化の進行やモータリゼーションの進展などにより、利用者は年々減少している。 一方で日常生活を営む上で、住民にとってはなくてはならない路線であることからバス事業者に対して運行補助を行うことによって住民の生活交通を確保する。		
	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
一般財源		31,973,000 円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

島根県生活交通確保対策協議会の協議結果に基づき、島根県知事が選定した生活交通路線を運行する事業者に対して、補助対象経常経費と経常収益との差額のうち、国及び県の補助金を除いた残額を路線の延長によって沿線自治体と按分した額を補助金として交付する。

- ・バス運行事業者 石見交通株式会社
- ・補助対象期間 平成29年10月1日～平成30年9月30日

#### ★三江線代替交通

平成30年4月1日付けでJR三江線が廃止されたのに伴い、代替交通として石見交通江津川本線（江津高校前・済生会病院～石見川本）が運行を開始した。これにより、運行本数は三江線運行時の1日5往復から6往復に増加した。

また、江津川本線に重複する石見交通川戸線（済生会病院～川戸駅）は、平成30年3月31日をもって廃止した。

#### ○事業の実績

運行系統	運行キロ	平均回数	乗車密度	補助金(千円)
周布～有福温泉～江津駅前	42.0	6.8	2.5	5,685
周布～宇野～有福温泉	26.3	1.0	1.2	87
江津駅前～大橋東詰～嘉戸塩田口	2.5	1.9	0.2	684
済生会病院～江津駅前～嘉戸塩田口	3.6	1.9	0.1	1,025
周布～西波子～温泉津温泉口	50.5	1.0	2.0	1,313
周布～西波子～済生会病院～江津駅前	31.2	16.5	3.2	8,298
周布～西波子～沖田クリニック～江津駅前	32.6	4.0	3.2	
済生会病院～岩貝～川戸駅	16.8	2.0	0.0	2,188
済生会～江津駅～川戸～石見川本	40.7	5.0	1.6	3,783
江津高校前～済生会～川戸～石見川本	45.7	1.0	2.9	
済生会病院～波積～大家	24.4	0.8	0.2	1,038
済生会病院～波積～大家回転場	23.8	2.8	0.8	2,972
済生会病院～浅利駅～波積	13.2	2.0	0.3	3,949
大田市立病院前～宅野口～道の駅サンピコ	38.0	0.5	2.7	53
大田市立病院前～仁万駅前～済生会病院	48.1	4.0	4.1	636
大田市立病院前～大田西中～道の駅サンピコ	39.1	1.1	2.8	125
大田バスセンター～大田西中～道の駅サンピコ	36.0	0.5	0.1	100
仁万駅前～大田西中～道の駅サンピコ	19.9	0.5	3.0	37
合計				31,973

#### ○事業の効果

石見交通により、安定的に輸送サービスが提供された。  
とりわけ、JR三江線廃止に伴い石見交通江津川本線が運行されたことにより、沿線の公共交通の維持確保を実現しただけでなく、便数増など利便性も向上した。



事業名	三江線代替バス事業（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 29 年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	商工観光課	商工振興係		目	10	地域開発費	
事業費		45,073,550 円		事業の目的・目標	平成30年4月1日付でJR三江線が廃止されるのに伴い、代替バスの整備を進め、公共交通の維持・確保に努める。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	45,073,550 円					
	一般財源	円					

**施策の内容、実績、及び効果**

○事業の内容

●バス停回転場及びバス停施設の整備

代替バスの回転場を桜江総合センター、川戸、川越、鹿賀に整備したほか、バス停施設を鹿賀、川越、大貫橋に整備した。

●トイレの整備

石見交通と江津市生活バスの結節点である川平バス停（旧川平駅）にトイレを整備した。



●バス運行対策費補助金

三江線代替バスとして新たに路線を新設する交通事業者に対し、乗務員確保にかかる経費について、補助金を交付し、円滑な運行支援に努めた。

- ・乗務員確保に係る事業費の補助  
1,997,230円



○事業の効果

この事業を実施することにより、三江線代替交通を円滑に運行することにつながり、地域の公共交通を維持することができた。

事業名	生活交通バス事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	商工観光課		商工振興係		目	10	地域開発費	
財源内訳	事業費		15,436,640 円	事業の目的・目標	地域住民の交通手段を確保し、公共の福祉に資するため、江津市生活路線廃止代替バス及び江津市生活バスを運行する。			
	国庫支出金		554,000 円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		752,350 円					
一般財源		14,130,290 円						

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

##### ●江津市生活路線廃止代替バス

井沢町井沢峠から跡市町跡市停留所までの間において、生活路線廃止代替バスを運行する。  
 ・運行状況 月～土 2往復/日

##### ●江津市生活バス（桜江地域）

桜江町において各集落から応儀医院、JR川戸駅、公共施設、金融機関及び商店などへアクセスする生活バスを運行する。三江線廃止に伴い、一部路線を再編した。

・運行状況 (月・木) 三田地・今田方面 各1往復/日、市山線・★鹿賀線 2往復/日  
 (火・金) 長戸路・谷・下の原方面 各1往復/日、市山線 3往復/日

##### ●江津市生活バス（江津中部地域）

川平町、松川町上津井地区、波積町南において、石見交通のバス停を結節点としたデマンド型バスを運行する。また、平成30年4月から三江線代替交通として江津川平線の運行を開始した。

・運行状況 川平線 (火・金) 2往復/日 ※デマンド型  
 松川波積線 (月・木) 2往復/日 ※デマンド型  
 ★江津川平線 (火・金・日) 2往復/日

##### ●江津市生活バス（有福千田線）

有福温泉町および千田町において、石見交通のバス停を結節点としたデマンド型バスを運行する。

・運行状況 火・木 1往復/日 ※デマンド型

##### ●江津市生活バス（★田津線）

平成30年4月から、三江線代替交通として、田津地区から桜江総合センターまで、桜江小学校スクールバスを利用した混乗バスの運行を開始した。

##### ★三江線代替交通（新規運行）

平成30年4月から、三江線代替交通として鹿賀線、江津川平線、田津線を運行している。

#### ○事業の実績

運行区間	運行日数	乗車人数	1日あたり乗車人数	使用料収入(円)
江津市生活路線廃止代替バス				
井沢峠－跡市バス停	295	677	2.29	110,020
江津市生活バス（桜江地域）				
(鹿賀線) 鹿賀団地－桜江総合センター★	92	190	2.07	66,270
(三田地線) 三田地上－川戸		47	0.51	9,400
(今田線) 川戸－(今田経由)－応儀医院前	100	65	0.71	11,600
(長戸路線) 長戸路集会所－桜江総合センター		1	0.01	200
(谷線) 上谷－桜江総合センター		73	0.73	14,600
(下の原線) 下の原－桜江総合センター		37	0.37	7,400
(市山線) 川戸－応儀医院前	192	442	2.30	88,100
江津市生活バス（江津中部地域）				
(川平線) 後谷－川平	92	349	3.79	67,400
(松川波積線) 波積町本郷～川平	71	270	3.80	54,000
(江津川平線) 川平－ゆめタウン江津前★	151	1,050	6.95	320,360
江津市生活バス（有福千田線）				
本明－跡市バス停	0	0	0	0
江津市生活バス（田津線）★				
岡田谷－桜江総合センター	243	15	0.06	3,000

★は三江線代替交通（平成30年4月運行開始）

#### ○事業の効果

生活交通バスの運行により、市民の交通手段を確保した。また、三江線代替交通が運行されたことにより、沿線の公共交通の維持確保を実現した。

事業名	総合市民センター費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	社会教育課				目	15	総合市民センター費	
事業費		45,492,819 円		事業の目的・目標	江津市総合市民センターの維持管理と、各設備の修繕・改修工事を行う。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		4,601,000 円					
	地方債		5,000,000 円					
	その他		円					
	一般財源		35,891,819 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

江津市総合市民センターの維持管理は、指定管理に関する基本協定に基づき指定管理者と分担し、市では大規模な改修・修繕工事を行っている。

#### ○事業実績

費目	金額 (円)	内容(内訳)	
需用費 (修繕料)	4,437,720	空調機・FCUフィルター更新	594,000
		外壁修繕	2,029,320
		舞台上部他漏水修繕	777,600
		非常用発電機修理	1,036,800
役務費	57,699	建物損害保険	
委託料	31,083,000	指定管理料	
工事請負費	9,914,400	冷温水・冷却水ポンプ改修工事	4,860,000
		舞台上部屋上防水修繕工事	5,054,400
合計	45,492,819		

#### ○月別利用状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者 (人)	1,373	1,006	1,210	3,537	2,217	1,395	3,500
入館料 (円)	438,450	349,120	456,870	961,410	815,970	476,780	990,000
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者 (人)	5,109	2,292	3,315	2,072	2,296	29,322 人	
入館料 (円)	1,426,590	627,370	615,180	555,660	649,210	8,362,610 円	



冷温水・冷却水ポンプ改修工事



舞台上部屋上防水修繕工事

事業名	地籍調査事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	02	総務費	
事業開始年度	平成 10 年度	事業進捗率		52 %	項	01	総務管理費
担当部署	土木建設課	地籍調査係		目	16	地籍調査事業費	
事業費			24,717,893 円	事業の目的・目標	国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積の測定を行い、地籍図と地籍簿を整備することにより、都市計画などの各種施策の策定あるいは公共事業のための用地買収など、土地に関する行政や市民生活と密接に係る基礎資料を作成する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		17,917,500 円				
	地方債		円				
	その他		40,100 円				
一般財源		6,760,293 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

一筆ごとの土地について、所在、地番、地目及び境界の調査と登記簿に記載された所有者の表示事項の確認と境界の測量及び面積の測定を行い、調査の結果を地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）に作成する。成果は県知事の認証を受けた後、法務局において登記される。

#### ○事業の実績（計画面積）

単位:km<sup>2</sup>

作業工程/調査地区	江津3区	嘉久志3区	嘉久志4区	黒松3区
地籍図根三角測量 (C工程)	—	—	—	—
地籍図根多角測量 (D工程)	—	—	—	—
一筆地調査 (E工程)	—	—	0.14	0.23
地籍細部測量 (F I工程)	0.14	0.12	—	—
一筆地測量 (F II-1工程)	0.14	0.12	—	—
地籍図原図作成 (F II-2工程)	0.14	0.12	—	—
地積測定 (G工程)	—	—	—	—
地籍簿作成 (H工程)	—	—	—	—

#### ○平成30年度末現在進捗状況

- ・江津市全体面積 268.51km<sup>2</sup>
- ・調査対象面積 255.85km<sup>2</sup>

※調査実施面積は、換算面積（調査中）を含む。

区	分	調査実施面積	進捗率
桜江地域（平成9年度 全区域完了）		102.96km <sup>2</sup>	—
江津地域 （完了区域）	川平町平田1～8区、波子町波子1～4区、嘉久志町嘉久志1～4区、川平町南川上1～5区、浅利町浅利1区、松川町上河戸1～2区、松川町下河戸1区、江津町江津1～3区、後地町後地1～7区、黒松町黒松1～3区、都治町都治1区、和木町和木1区	26.83km <sup>2</sup>	—
	ミ三国調（波積町、波子町、敬川町、有福温泉町の一部）	2.19km <sup>2</sup>	—
	19条5項関係（圃場整備、区画整理等で指定を受けたもの）	2.29km <sup>2</sup>	—
計		134.27km <sup>2</sup>	52.48%

#### ○事業の効果

地籍調査の成果は、登記に反映されるため次のような効果が得られる。

- (1) 土地に関するトラブルの防止。
- (2) 公共事業の円滑化、用地取得に伴う登記事務処理の省力化。
- (3) 課税の公平化。
- (4) 災害時等での境界の復元。
- (5) 各種土地施策の基礎資料としての利用。

事業名	人権啓発活動事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	人権啓発センター		人権同和啓発係		目	17	人権啓発費
事業費		1,140,012 円		事業の目的・目標	人権尊重思想の普及高揚を図り、人権問題に対する正しい認識を広めることにより、基本的人権の擁護に資することを目的に人権啓発活動を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	362,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	778,012 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	要	決算額(円)
人権の花運動の推進	花を育てることによって、児童の人権感覚を高める。 参加校 郷田小学校、渡津小学校、江津東小学校、津宮小学校、高角小学校、川波小学校、及び桜江小学校（以上7校） 花の種ほか	105,000
人権ワークショップの開催	テーマ： 石見の竹細工 開催日 10月21日（日） 会場 江津市総合市民センター  しまね人権フェスティバル 来場者850人 ワークショップ参加者 56人  啓発資料作成 会場借上げ料 講師旅費 等	257,000
その他事務・事業費		141,597
全日本同和会島根県連合会負担金		61,415
浜田人権擁護委員協議会負担金		195,000
全日本同和会江津支部補助金		380,000
合 計		1,140,012

○事業の成果

同和地区の数少ない生業として脈々と伝えられてきた「石見の竹細工」を展示やリーフレットで紹介し、ワークショップで竹細工づくりを体験してもらうことで、庶民の生活を支えてきた先人の「誇り」を体感すると同時に、歴史の中で虐げられてきた人々の「哀しみ」を知ることで、同和問題を考える機会となった。



「石見の竹細工」ブース



「石見の竹細工」啓発リーフレット

事業名	男女共同参画事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	人権啓発センター		男女共同参画推進係		目	17	人権啓発費
事業費		453,425 円		事業の目的・目標	男女共同参画社会の形成に向け、市民への啓発活動及び計画に基づく施策の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	453,425 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

概 要		決算額(円)
男女共同参画講演会	開催日：2月23日(土) 会場：江津市総合市民センター 会議室 講師：鍋山祥子(山口大学経済学部教授) 演題：「超高齢社会を生き抜くために ～子ども・大人・シニアそれぞれの男女協働～」 参加者：102名	248,779
男女共同参画推進委員会	開催日：2月14日(木) 内容：計画推進に関する意見交換・男女共同参画講演会準備	23,380
男女共同参画研修ほか	あすてらすフェスティバル、男女共同参画研修等に 参加し男女共同参画意識の向上を図る。 あすてらすフェスティバル：6月16日(土) 参加者：14名	86,266
江津市女性ネットワーク補助金		95,000
合計		453,425

#### ○事業の成果

男女共同参画講演会は、「超高齢社会を迎え、男女に関わらずどう生きていくか」をテーマに実施し、20代から80代の男女が参加。アンケート結果で、85.3%の人から、男女共同参画について「理解が深まった」との回答を得た。また「超高齢社会を生き抜く元気がでた」「今後の生き方を考える上でとても参考になった」と講演を評価する感想が多数あった。



「男女共同参画講演会」



事業名	広域隣保館活動事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	総務管理費
担当部署	人権啓発センター		人権同和啓発係		目	17	人権啓発費
事業費		480,000 円		事業の目的・目標	波来浜ふれあい集会所を拠点に、地域住民と融合した隣保活動事業を展開し、社会的、経済的、文化的改善向上を図るとともに、人権・同和問題の速やかな解決に資する。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	360,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	120,000 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

概 要		決算額(円)
社会調査及び研究事業	生活相談員等養成研修	14,300
相 談 事 業	地域生活相談員を配置し、住民の生活上の相談に応じ、必要な助言及び指導を行う。 関係機関との連携を図りながら、もって福祉の増進に寄与する。	198,000
地 域 交 流 事 業	文化教養講座（3教室）常設に、特別講座（絵手紙）を開催し、地域交流を図る。 (円)	267,700
	講座名   実施回数   延べ参加者数   事業費	
	健康教室   10回   56人   45,000	
	竹細工教室   11回   73人   110,000	
	生花教室   12回   117人   63,000	
	絵手紙教室   1回   4人   10,000	
	計   34回   250人   228,000	
その他（需用費・役務費）	39,700	
合 計		480,000

#### ○事業の成果

地域のニーズに対応するため、生活相談員の養成研修に参加して必要なスキルの習得に努めた。近年は過疎化・高齢化で相談件数は減少傾向にあるが、同和問題の解消に向け引きつづき相談体制の存続は必要。地域交流事業は昨年より参加人数が減ったが、健康や生きがいがいづくりに貢献しており、楽しみにしているリピータも多く、地域内外住民の交流による意識改革に寄与している。



生花教室



竹細工教室



健康教室



絵手紙教室

事業名	私立高等学校振興事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	02	総務費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	%		項	01	総務管理費
担当部署	総務課	行政係			目	18	諸費
事業費		44,000,000 円		事業の目的・目標	少子化に伴う生徒数の減少により、経営状況が悪化している学校法人江の川学園に対し、引き続き支援することにより、同学園の教育、財務の健全性を高め、定住対策推進に資する。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	44,000,000 円					

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容、実績

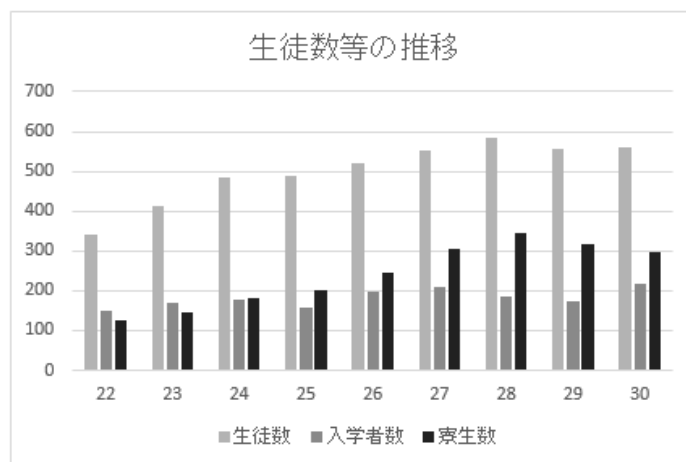
##### ●私立高等学支援特別対策補助金

44,000,000円

#### ○事業の効果

- 石見智翠館高等学校について、進学校としてのブランド強化のため、能力のある教員を採用することによる智翠館特別コース等の教育環境の充実や、男女ラグビー部・吹奏楽部等の部活動部門の強化、スクールバス運行継続、寮施設の改修による住環境の改善等を行ったことにより、生徒数、入学者数、寮生数はほぼ右肩上がりに推移し、平成29年度は若干減少したものの、平成30年度は入学者数が大きく増加している。このことから、学校法人江の川学園の経営状況は順調に改善しつつあるものとする。

年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30
生徒数	342	413	483	490	519	554	586	558	560
入学者数	149	171	177	158	199	208	185	173	216
寮生数	126	146	181	201	246	304	346	318	299





事業名	高校支援対策補助事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	02	総務費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	総務管理費
担当部署	総務課		行政係		目	18	諸費	
事業費					1,898,895 円		事業の目的・目標 市内の県立高校の教育環境の向上、特色ある教育等への支援を図ることにより、両県立高校の教育力及び魅力を高め、入学者の増加を目指す。	
財源内訳	国庫支出金				円			
	県支出金				円			
	地方債				600,000 円			
	その他				円			
	一般財源				1,298,895 円			

### 施策の内容、実績、及び効果

#### ○事業の内容

- 通学バス運行事業 677,445円 (委託費648,000円、燃料費29,445円)  
公共交通機関の運行のない夕方に県立高校の生徒の帰宅用に通学バス1便を運行する。

運行期間：平成30年4月から平成31年3月まで

運行時刻：公共交通機関の運行のない夕方の時間帯に1便

対象者：帰宅する江津高校、江津工業高校の生徒

運行业務：スクールバスを使用し、スクールバスの運行业務を委託している会社に運行业務を委託する。

運行経路：①川戸駅～市山～長谷

【桜江小のスクールバス15人乗りを使用】

【委託料】 1日3,000円×200日×1.08=648,000円

【燃料費】通学バス運行事業の燃料費(実績) 29,445円

#### ○事業の実績

通学バス運行事業 江津高校5名、江津工業高校2名登録 平均乗車人数2.4人

4月	延べ33人	15日	
5月	延べ27人	11日	通行止め9日間
6月	延べ31人	17日	
7月	延べ36人	18日	
8月	延べ29人	9日	
9月	延べ38人	16日	
10月	延べ60人	21日	
11月	延べ53人	21日	
12月	延べ46人	14日	
1月	延べ50人	17日	
2月	延べ32人	16日	
3月	延べ28人	15日	
	延べ463人	190日	

#### ○事業の効果

通学バスの利用状況は、登録者数7人、平均乗車人数2.4人  
市内県立高校2校の入学人数は下記のとおり。

(入学者数)	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
江津高校	101	85	95	72	72	82	74	72	75	57
江津工業高校	78	103	55	94	80	82	63	76	70	78